



城北中 だより

2023年度3月号

福山市立城北中学校 校長 山口裕三

2024(令和6)年3月29日発行

君たちの前でも何度かお話をしたことがあると思いますが、わたしはマラソンをやっています。実は昨日もフルマラソンを完走してきました。マラソンってね、自分との勝負です。甘っちょろい自分との勝負。今までの自分との勝負。過去の自分を塗り替えていく、自己ベストとはそういうことです。それは壮絶な戦いです。なかなかゴールが近づいてきてくれません。

実はこの過程、人間ならばみんな常に同じことをやっています。君たちをはじめとした学生諸君も、日々やっています。企業もそう、社会人として仕事していても、常にそうです。

自分を成長させ続けること。これは、大人だろうが、子どもだろうが、永遠のテーマです。どうすれば、成長し続けることができるのでしょうかこれに対して、ひとつ、提案をしたいと思います

それは「**昨日の自分を越えようとする**こと」です。少しでもいい。1割増し(1.1)でなくても1%増し(1.01)でもいい、昨日の自分を上回ることです。

でも、なかなかできないよねー、日常はなかなか変えられないしー、そもそも、日常ってつまらないしー。。。本当にそうでしょうか？

いつもの日常が実につまらなくて、自分を受け入れてもらえないから、面白いことが全くない。これは全部、学校や社会のせいだ。だから無口なクラスメイトつかまえていじって、わからんようにいたずらして、友だちと結託して無視して・・・あるいは、お店に入って、お金も払わず品物をとって・・・お寿司屋さん入って、しょうゆが出るところを舐めて、それを動画で撮影して・・・実にくだらない。

受け入れてもらえない、賛成してもらえない、だからこそ自分はこう生きたいと決断し、自分の内面に向き合い、探し、探し、自分を変えていけるチャンスなのに。決意を先延ばしにしたり、避けたりしている。魚は何故水の中で泳げるのか、それは水の抵抗があるからです。鳥は何故空を飛べるのか、それは空気の抵抗があるからです。泳ぐ、飛ぶは抵抗がなければできない。君たちもそう。抵抗があるから成長できる。抵抗があるから、それでも上を向ける。ボクがゴールへ向かう際には抵抗だらけだ。だからこそ、自分を成長させることができると信じている。

抵抗とは、外からの力にあらがうこと、外からの力とは、何かにチャレンジしようとしたら、すぐにはうまくいかないということです。それにあらがう。ガマンして続ける、継続する。

できますか？ いや、できる！ やる！！ ボクも昨日、ずっと自分に言い続けてきた。

そしてもう一つ大事なこと。そうやって自分を成長させようともがいている人を、心無い言葉で傷つけないこと。これも周りにいる人のマナーです。すぐに怒る人、心無い言葉を発する人、ひそひそ聞こえるか聞こえないかの悪口をいう人、これも実にくだらない。この呪いの言葉は、弱い酸です。心を溶かします。一生懸命やろうとしている人たちの灯を消さないでください。医療現場に登場する「手当て」という言葉、思い出してください。なんて書きますか？文字通り、手を当てることです。手を当ててあげて、灯を大きくしてあげてください。

最後のまとめです。ボクから君たちへの最後のメッセージです。

「自己ベストでいい」「君たちはきっと想像以上だ」

2年間、本当にお世話になりました、ありがとうございました。

(2024.3.25.離退任式、離退任者を代表して、教頭、高垣の挨拶、ほぼそのまま)